

Weekly Reports 2023-2024



国際ロータリー第2680地区

Rotary
加古川ロータリークラブ



2023-24年度RI会長:ゴートンR. マツキナリ/地区ガバナー:安行 英文
加古川ロータリークラブ会長:釜谷 和明 / 幹事:吉田 太郎
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和6年4月23日(火) 晴 No. 39



▲会長挨拶



▲高田会員へ地区より
委嘱状



▲次年度委員会Ⅱ司会の
山本次年度幹事

会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。先日の創立70周年記念式典・懇親会には山口実行委員長を筆頭に、会員の皆様には何かとご苦勞頂きながら、多くの会員の皆様、そして来賓の皆様にご出席頂き行う事が出来ました。誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

当日は、会長として全体の流れを把握できてなく、会員の皆様にはご苦勞をおかけし、ご心配を頂く事になってしまいました事に関しましてはお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。ご迷惑をおかけしましたが、対外的には皆様のおかげで、加古川ロータリークラブらしい、式典・懇親会に何とかなったのではないかと考えております。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。周年行事としましては、記念事業、記念誌作成他、まだまだ続きますが、最後までどうか宜しくお願い致します。

本日は先週に続き次年度委員会Ⅱになっております。そして、来週29日には次年度の地区研修・協議会が行われ、いよいよ次年度が全体として動き出します。その様な時期ですが、大庫次年度会長は、本日は商工会議所の公務に無理にご出席頂いており、欠席されております。朝からは朝食会でご一緒でしたので、皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいと伺っております。どうか宜しくお願い致します。

以上で、会長の時間を終わらせて戴きます。本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- 1) BOX に彰化南 RC からの記念品を入れております。
- 2) 加古川みどりの会より「花とみどりのフェスティバルの開催についてのご案内」、地区より『令和6年能登半島地震』災害支援ご協力のお礼』を回覧します。
- 3) 70周年記念式典にご参加の会員で、記念品を貰っていない方がおられましたら、事務局までお知らせくださいますよう、お願い致します。

- 4) 次週4月30日(火)の例会は例会取りやめのため、ありません。
- 5) 事務局ゴールデンウィーク中のお休みについて、
4月27日(土)～5月1日(水)【4月30日、5月1日は行事の代休と有給】、
5月3日(金)～6日(月)休みとなります。
5月2日(木)は出勤します。
休み中の緊急連絡は吉田幹事までお願いします。
- 6) 5月よりクールビズ暫定期間とさせていただきます。
- 7) 森田会員より「絵画と刺繍の二人展」のご案内のはがきを BOX にいれさせていただいております。皆様松風ギャラリーまで行っていただければと思います。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|---|
| 省 | 略 | ☺ | 本日は次年度委員会Ⅱです。
よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 先日の創立70周年記念式典・祝賀会では会員の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 4月20日は皆様お世話になり、ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日は公務のため勝手いたしますが、次年度委員会Ⅱ、よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日次年度委員会Ⅱよろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 創立70周年記念式典・祝賀会、実行委員会の皆様のおかげで無事終了しました。お疲れ様でした。 |
| 省 | 略 | ☺ | 70周年記念式典・祝賀会が無事に終わった喜び！
ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 森田会員、おめでとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 先日の70周年記念行事すばらしかったです。感動しました。ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 先日の70周年記念式典では会員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。 |
| 省 | 略 | ☺ | 創立70周年記念式典・祝賀会、釜谷会長、山口実行委員長、そして会員の皆様、大変お世話になり、有難うございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 加古川ロータリークラブ70周年式典・祝賀会を迎えて。
6月9日の記念事業よろしくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 70周年の式典・祝賀会が成功裡に終わった喜び。
釜谷会長ごちそうさまでした。 |
| 省 | 略 | ☺ | テーブルの花いただきます。 |

以上14件 ¥30,000-
本年度累計¥1,721,000-

出席委員会

- | | | | | | | |
|-----|---|----------|----------|-----------------------|-----------|--------|
| ☆ 今 | 週 | 会員数 73 名 | 出席 41 名 | 出席免除 13 名 | 欠席 19 名 | |
| ☆ 欠 | 席 | 者 | 省略 | | | |
| ☆ 前 | 々 | 週 | 会員数 73 名 | 出席 56 名 | 出席免除 11 名 | 欠席 6 名 |
| ☆ | メ | ーク | アップ | 2023-24 年度クラブ管理運営セミナー | 4/21 松尾 | |

親睦活動委員会

例会場当番

5月 7日(火) 中田、中尾

5月14日(火) 橋本直、岡田



プログラム委員会

本日4月23日(火)	4月30日(火)	5月7日(火)	5月14日(火)
次年度委員会Ⅱ	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]	新会員自己紹介 橋本直・大野担当	卓話 衣笠担当

5月のおよろこび

- ◆ 誕生日祝 省略
- ◆ 結婚記念日祝
- ◆ 出席表彰
- ◆ 会社創立記念日

南太平洋の島々の子どもたちをワクチンで守る

ロータリー会員による「すべての子どもに未来を」プログラムで
10万人の児童に予防接種

文：Etelka Lehoczky

南太平洋の国々は熱帯気候で暖かく、経済的に多様で、互いの距離が大きく離れています。数百万平方マイルに広がるこの地域では、複数の離島から成る国もあり、子どもへの予防接種において独特な課題をもたらしています。

「距離や移動手段といった問題で、離島へのワクチン輸送が困難となっています。ボートで届けるのに1~3カ月待たなければならないこともあります」と話すのは、クック諸島で予防接種を監督するルルフィナ・トゥタイさんです。彼女が担当する15の島は、200万平方キロメートルほどの範囲に散在しています。

「チャーター機を借りるのは高額です。2週間以内に離島に向かう飛行機があればラッキーと言えます」とトゥタイさん。

このようなハードルはあるものの、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島7カ国のロータリアンは、島々での大規模な予防接種プログラムに挑戦しています。「すべての子どもに未来を」(Give Every Child a Future)と名付けられたこのプログラムは、同地域のロータリー100周年を記念して立ち上げられたもので、太平洋諸島9カ国(クック諸島、キリバス、ナウル、ニウエ、サモア、トケラウ、トンガ、ツバル、バヌアツ)の10万人の子どもに3種の新しいワクチンを提供しています。

シドニー・ロータリークラブ(オーストラリア)会員のジェームス・アレンさんはこう言います。「発展途上地域での公共保健プログラムは、私たちが行うことのできる最も効果の高い援助方法の一つです。ニュージーランドとオーストラリアにとって身近な存在である太平洋諸島を対象地域にしました」

このプログラムの計画には、約 8 年かかりました。当初、子どもの健康に大きなインパクトをもたらすのに十分な資金(少なくとも 100 万米ドル)を集めたいと考えていましたが、後押ししてくれる理想的な団体と提携関係を結ぶまで具体的な目標は立てられませんでした。

その団体とは、これまでもロータリーと頻繁に協力してきた UNICEF(国連児童基金)です。UNICEF の担当者たちは当初、この包括的な保健介入の資金をロータリー会員が拠出できるのか半信半疑でした。

「私たちの真剣さをわかってもらえるまで何度も Eメールでやりとりしましたが、最終的には『とても良いアイデアだ』という返事がもらえました」とアレンさんは話します。

UNICEF の担当者は、ロタウイルス、肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス(HPV)の新しいワクチンを使った児童予防接種を実施することを提案しました。UNICEF オーストラリアの最高マーケティング責任者リビー・ホジソンさんによると、ロタウイルスは乳幼児の下痢症の主な原因、肺炎球菌は太平洋諸島の 5 歳未満の子どもの死因トップ 3 に入っています。HPV のワクチンは、思春期の少女に接種することで後に子宮頸がんに行進するのを予防できます。「太平洋諸島では子宮頸がんによる負担が大きく、そのほとんどが HPV によるものです」とホジソンさんは言います。

これほどのプログラムを実現するには、この地域のロータリークラブが約 390 万米ドルを集める必要がありました。これは、当初に考えた金額のほぼ 2 倍でした。

「野心的だとは思いましたが、大きなインパクトをもたらす取り組みがしたかった」とアレンさんは言います。

最終的に、会員たちは 23 件のグローバル補助金を申請し、ロータリー財団から 98 万米ドル以上を確保しました。このプログラムはそのほかにも、地区財団活動資金(DDF)から約 80 万 7 千米ドル、クラブと個々の会員から 99 万米ドル、他財団から 26 万 4 千米ドル、オーストラリア政府から 86 万米ドルの支援を受けました。

これらの資金のおかげで、予防接種のほかにも、冷蔵庫や保冷容器などワクチンを低温に保って離島に運搬するための設備も購入できました。これらの設備は、今後長年にわたって 9 カ国の保健省が活用していけるものです。3 種の新しいワクチンを定期予防接種に組み入れるというプロジェクトのもう一つの目標も、これで満たされます。

「このプログラムは、児童 10 万人への予防接種だけにとどまりません」と話すのは、「すべての子どもに未来を」の推進委員長であるミシェル・タナーさん(ニュージーランド、マタマタ・ロータリークラブ会員)です。「プライマリヘルスケアとワクチン供給システムを強化し、スタッフの能力を高め、設備を最新にし、記録管理といった方針と手続きを更新すること、これらすべてがプログラムの目的なのです」

さらに、ニーズに対応できる約 900 人の医療従事者の研修も行いました。トゥタイさんはこう言います。「主な課題は医療従事者の不足です。子どもに投与する前に、少なくとも二人の看護師がワクチンを二重チェックするというのが私たちの方針だからです」

ジェニファー・ジョーンズ元国際ロータリー会長も、会長だった 2023 年 3 月に太平洋諸島を訪問し、プログラムの視察と推進を行いました。

「予防接種を受けたにもかかわらずロタウイルスに感染した息子を持つ夫婦と話す機会がありました。その子が生き延びられたのは、予防接種のおかげです」とジョーンズ元会長。「すべての子どもに未来を与えること、これこそ、ロータリーが行っていることです。私たちは約束したら、必ず果たします」